

# 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援					
(2)	総合計画の体系	第 3 章	健康で安心して暮らせるまちづくり				
		第 2 節	高齢者の暮らしを支えるまちづくり				
		第 20 細節	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		865,385	893,187	1,007,861	
		従事職員数		10.33 人	11.81 人	10.14 人	
		所要人件費(B)		82,686	100,595	84,447	
		総事業費(A+B)		948,071	993,782	1,092,308	
		財源内訳	収入	国庫支出金	20,878	19,838	26,947
				府支出金	257,442	279,409	294,836
				その他	61,367	55,324	69,459
		市負担	地方債	地方債	0	0	0
				その他	7,885	1,447	8,093
一般財源	600,499			637,764	692,973		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	介護予防普及啓発事業参加者数 (講演会、出前講座等)	目標値 (単位:人)	4,278.00	4,629.00	6,541.00
		実績値 (単位:人)	4,629.00	6,541.00	
		達成度(%)	108.2	141.3	
目標値の積算方法	前年度実績				
指標内容	介護支援サポーター年度末登録者数	目標値 (単位:人)	289.00	339.00	409.00
		実績値 (単位:人)	301.00	391.00	
		達成度(%)	104.2	115.3	
目標値の積算方法	計画値				

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

介護保険法の改正により、介護予防・日常生活支援総合事業として、更なる生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加の促進のため、各事業の再構築が必要です。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	介護予防普及啓発事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00408	なし	大	20	20	20	20	14	94	拡充
2	街かどデイハウス介護予防事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00411	なし	大	16	16	16	18	18	84	継続
3	街かどデイハウス事業補助事業	高齢福祉室	00420	全部	大	16	16	16	18	18	84	継続
4	介護支援サポーター事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00410	なし	大	18	14	14	16	18	80	継続
5	緊急通報システム事業	高齢福祉室	00397	全部	大	20	18	14	16	12	80	継続
6	救急医療情報キット配布事業	高齢福祉室	01430	全部	大	18	20	20	18	18	94	継続
7	徘徊高齢者家族支援サービス事業	高齢福祉室	00424	なし	大	20	18	18	18	18	92	継続
8	介護用品支給事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00414	なし	大	18	18	18	18	20	92	継続
9	配食サービス事業	高齢福祉室	00399	全部	大	12	20	18	16	16	82	継続
10	高齢者日常生活用具給付等事業	高齢福祉室	00396	全部	大	14	20	16	14	18	82	継続
11	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業	高齢福祉室	00398	全部	大	14	14	16	18	16	78	継続
12	シルバーハウジング生活援助員派遣事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00391	なし	大	18	18	16	18	20	90	継続
13	やむを得ない措置事業	高齢福祉室	00423	なし	大	18	20	20	18	20	96	継続
14	養護老人ホーム入所措置事業	高齢福祉室	00422	なし	大	20	18	20	18	12	88	継続
優先順位をつけるにあたっての考え方		高齢者が生き生きと元気にすごせるために重要である介護予防事業を上位とし、その次に生活支援に資する事業、その他としました。その他では、法的に実施しなければならない事業を上位としました。										

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
15	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業	高齢福祉室	00419	全部	大	16	18	16	16	20	86	継続
16	高齢者スポーツ大会開催事業	高齢福祉室	00379	全部	大	16	18	20	18	16	88	継続
17	高齢者訪問理美容サービス事業	高齢福祉室	00401	全部	大	16	20	14	18	18	86	継続
18	福祉事業に係る診断料助成事業	高齢福祉室	00425	全部	大	14	14	20	14	14	76	継続
19	栄養改善事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00406	なし	大	14	18	18	18	16	84	廃止
20	高齢者家具転倒防止器具設置助成事業	高齢福祉室	00421	全部	中	14	10	10	16	18	68	継続
21	口腔機能向上事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00405	なし	大	14	18	18	18	14	82	廃止
22	運動器の機能向上事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00404	なし	大	16	18	18	18	14	84	廃止
23	介護予防訪問指導事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00407	なし	大	14	18	18	18	12	80	廃止
24	二次予防事業対象者把握事業	高齢福祉室	01434	なし	大	14	16	18	18	14	80	廃止
25	一部負担金相当額等助成事業	国民健康保険室	00517	一部	大	14	18	18	16	14	80	継続
26	老人医療費助成事業	国民健康保険室	00516	全部	小	12	14	8	10	4	48	終期の設定
27	老人保健事業	国民健康保険室	00520	なし	小	8	8	4	14	12	46	廃止
28											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		高齢者が生き生きと元気にすごせるために重要である介護予防事業を上位とし、その次に生活支援に資する事業、その他としました。その他では、法的に実施しなければならない事業を上位としました。										